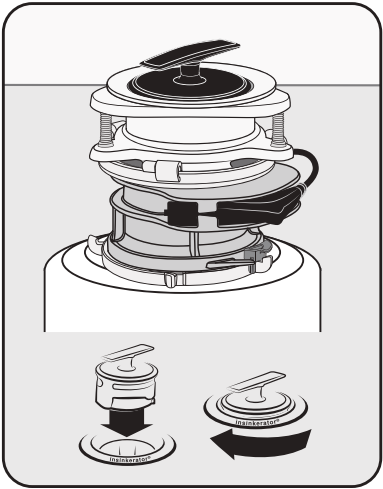
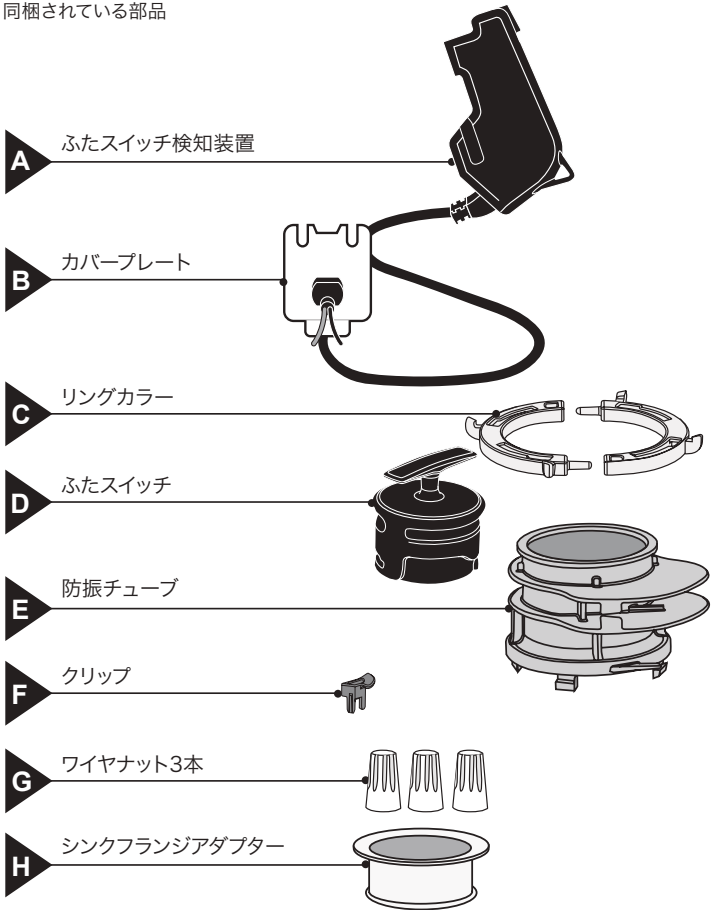


CCKIT-05 施工及び取扱説明書

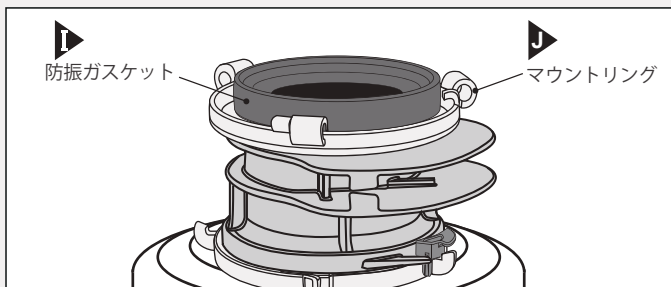


かならずAC105施工説明書とともに使用のこと

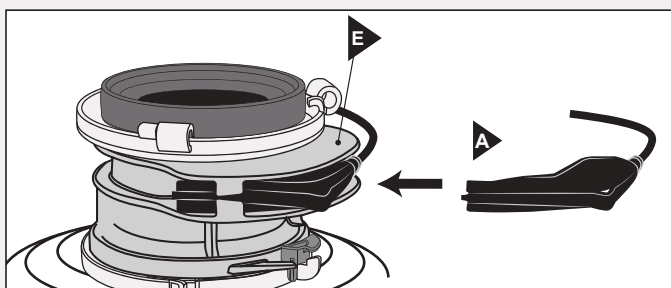
同梱されている部品



● 防振ガasket、マウントリング、ふたスイッチ検知装置(A)の取り付け



4.1

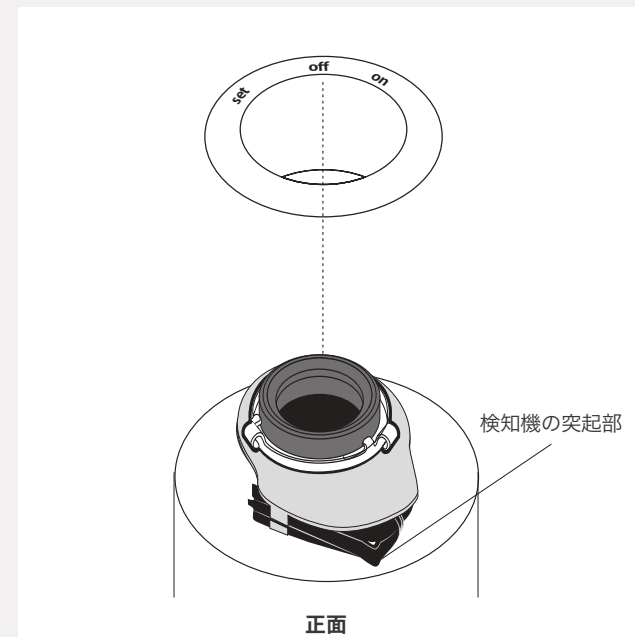


4.2

1. 先に取り外していた防振ガスケット (I) とマウントリング (J) を防振チューブに取り付けます。(図4. 1)
2. STEP2で電源線を接続してあるふたスイッチ検知装置 (A) を防振チューブ (E) に取り付けます。防振チューブの右斜め手前からスライドさせ左方向にある枠をぐってカチッと止めます。(図4. 2)



一度セットしますとやり直すことは出来ませんのでご注意ください。
この時点でディスポーザの正面のやや右手前側にふたスイッチ検知機の突起部がくる位置となります。



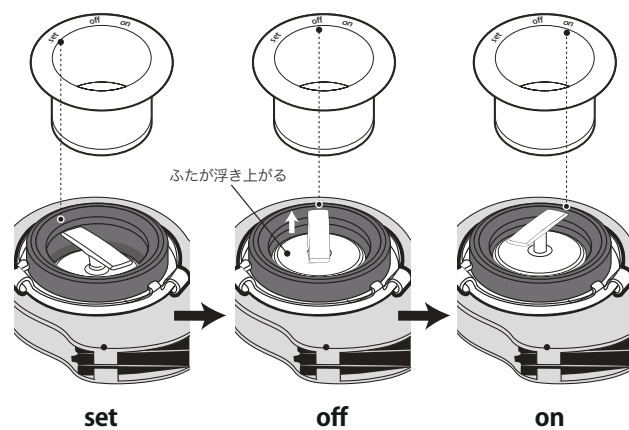
正面

検知機の突起部

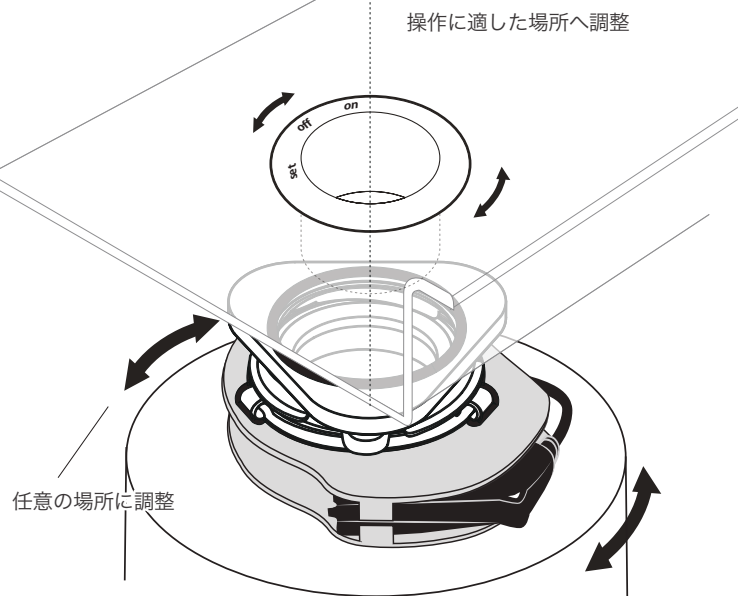
● ディスポーザの取り付けとシンクフランジアダプターの位置調整

1. ディスポーザを取り付ける前にふたスイッチの Off や On の位置の確認をします。

ふたスイッチを挿入して時計回りに回すことによって Off と On の大体の位置を把握してください。(ふたスイッチの使い方は次ページ参照) ふたスイッチはスムーズに挿入できる位置・角度があり、その際にはふたは沈んだ状態になります。そこから時計回りに回すとふたが浮いてきて止まるポイントがあります。そこが Off ポジションです。さらに 30 度ほど時計回りにひねったところが On の位置となります。

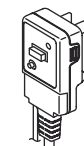


2. ディスポーザを持ち上げ、あらかじめ仮置きしているシンクフランジに取り付けますが、ディスポーザの取り付けに関しては AC105 の施工説明書を読んでください。



その際、ふたスイッチの On や Off の位置を念頭に置きシンクフランジアダプターの位置を調整後、シンクフランジアダプターを締め付けて下さい。
ふたスイッチの操作がしやすい適当な位置に Set (ふた挿入部)、Off、On が来るように、必要であればディスポーザ本体を回転させて位置調整をしてください。

3. 以上のセットアップが完了してから電源コンセントをつないでください。



● ふたスイッチ (D) の使い方

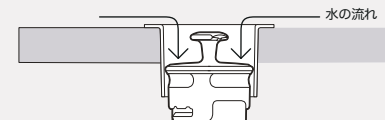


AC105に装着されておりますブラッシュガードはふたスイッチとは兼用できませんので取り除いて保管ください。



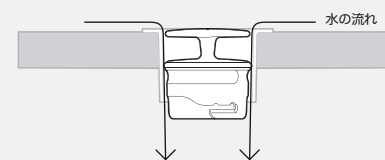
set

- ふたスイッチは Set の位置から挿入します。そのままシンクフランジアダプターの矢印に沿って時計方向に回して Off にします。



off

- Off になるとふたスイッチのレバーが少し浮く状態になります。この時点で蛇口からの水を流すと水はディスポーザ内には流れる状態になります。(Set や Off までの矢印の範囲では水はシンク内に貯まる状態になります。)



on

- さらに時計方向にひねって On にすることによってディスポーザは運転を開始します。

- ディスポーザの運転を止めるには左 (反時計方向) にまわし Off にします。
- ふたスイッチをはずす場合はさらに Set 方向に (反時計回り) 回して取り外せます。
- ディスポーザをご使用にならない時にはふたスイッチを Off の状態にしておいてください。
- ふたスイッチを外しておく場合には異物がディスポーザ本体に落下しないように市販の皿や AC105 に同梱されていますブラッシュガードを装着することをおすすめします。



1. 投入する生ごみの量はディスポーザ粉碎室に入る分だけです。防振チューブのところまで詰め込むことはやめてください。
ふたスイッチが作動しない場合があります。
2. 異物を落とした場合は長い菜箸などを使って取り除いてください。

保証

今製品の保証期間は設置から一年です。

株式会社日本エスコ

<https://www.esco-j.com>

(簡単なトラブル解決方法は上記HPでも確認できます)

サービスセンター

0120-101539<全国共通>



メモ